

美しい海を壊す工事はやめて

知事

新基地建設差止訴訟へ

7月

みんなの力で

沖縄
辺野古

埋め立て工事を ストップさせよう!



■都議選で爆発！安倍強権政治への怒り

東京都議選では、自民党が大惨敗しました。国民監視社会をつくる「共謀罪」の強行採決。「森友・加計学園」疑惑隠し。今年秋までの憲法9条改憲案づくり宣言——「安倍政権の国民無視の強権政治にストップを！」の国民の怒りが爆発したのです。その安倍政権の強権ぶりが露骨に表れているのが、沖縄への新たな米軍基地建設の押しつけです。沖縄県民の7割以上、そして県知事も、地元市町も沖縄選出全国会議員も反対しているのに、新基地を押しつけようとしているのです。

■無法な工事強行する安倍政権

安倍首相はとうとう4月4日から、新基地建設のために、名護市辺野古の豊かな海を埋め立てる工事に着手しました。しかも、海の環境を守るために受けなければならない、沖縄県知事の岩礁破砕許可もないままに。民意も法も無視した環境破壊の工事です。

これに対し沖縄県の翁長雄志知事は、7月にも工事差し止め訴訟を起こし、工事の停止を求めます。民主主義と人権、平和を守るために、全国でこの沖縄県民の正義の訴えを支援しましょう。

みんなで力合わせ憲法9条守ろう

秋にも自民9条改憲案!? 安倍改憲計画ストップを!



安倍首相は5月3日、2020年までに憲法9条を変える改憲計画を突然提案しました。安倍首相は憲法9条1項、2項は残し、その後に自衛隊の存在を明記するだけなどと喧伝しています。しかしだまされてはなりません。ここで明記される「自衛隊」は、「専守防衛」の自衛隊ではありません。国民の反対を押し切って強行した安保法制にもとづいて、海外で他国の戦争に参加する集団的自衛権行使などが認められた「自衛隊」です。さらに自民党改憲草案(12年)がめざすような、世界中で制限なく武力行使できる自衛隊への扉を開こうというものです。これは海外への戦争の出撃拠点をつくる沖縄新基地問題と一体です。どちらもNO!の声を上げましょう。

日本平和委員会

2017年7月発行

一人ひとりの平和の願いをもとに行動する平和NGOです

<http://j-peace.org/>

東京都港区芝1-4-9平和会館4階

TEL03-3451-6377 FAX03-3451-6277